

6月のことば
 ～情緒の安定④ 「集中力」

蒸し暑くなるこの時期、プロスポーツの世界ではフォームや姿勢の再チェック。
 つまり余分なところに力が入ってないかを点検し、微妙な力加減を修正し更に集中力を
 増し結果を残します。これは、スポーツのみならず仕事、勉強、生活も同じです。

「集中力」の五七五。

- ・「微妙なる 力加減が 強いこと。」
- ・「^{あわ}淡い味 感じる ことが 深いこと。」
- ・「^{つう}繊細な 違いわかるが 通な こと。」

・・・正風作。

しかし、今の世はこれに反し、繊細でなく力一杯のみの行動や、刺激的な事・味、
 淡いものを無駄として省略、○か×のみの回答…が氾濫。

よって、子ども達には、

- * ボタンを押すだけの遊びではなく、力加減が必要なものを…
- * 刺激的ではなく淡い味・匂いがわかるものを…
- * キャラクターという強烈な虚像ではなく、ほのかにイメージできるものを…
- * いかに大きな声・音を出すかよりも音質・意味にこだわりを…
- * 緑の中でも何種類の緑があるかを…
- * ○か×かのジャッジより様々な角度の考えがあることを…
- * 水、泥、土、風、暖かい、温かい…

等の感覚を体得させねばならず、これらは保育園の時期に分る事であり、後学で知る
 事はできません。

「集中力」 ～ 人生を一流に生きるか否かはここにあるのです。